

校長室から

# ひがしなら通心

(R元年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 44

令和元年11月14日(木)発行

## 新聞の投書から

～毎日新聞、朝日新聞より～

### 礼儀正しい日本？なぜ変化

日本語学校生

(大阪府 26)

インドネシアの大学日本語学科で学んでいた頃、私が日本人に持つイメージは「礼儀正しい人」でした。日本では人に何かを聞く前に「すみません」と言うのを教わっていました。ところが去年、留学

で初めて来日し、想像していたのと全然違い、とても驚きました。混んでいる道でぶつかった相手の日本人はいつも何も言わず、無視して歩き続けます。満員電車が降りる日本人が「すみません」と言わず、他の人に当たって迷惑を掛けるのを見ます。最初は私が外国人だから？ それで何も言わ

ないのかなと思っていました。しかし1年半、こんなことが続き、最近の日本人は謝らないのが普通で、他人を無視してもいいのかと考えるようになりました。日本はなぜ変化したのでしょうか。周りに迷惑を掛けた時、また仮に自分のせいでも、謝罪の言葉をかけた方がいいのではないですか。5秒もかからない「すみません」は相手の気分を害さず、礼儀正しさを保てると思います。

### 一人一人が優しい心を

小学生

(大阪府八尾市)

いじめにあって嫌な思いをしている方をテレビで見ました。私も悪口を言われたことがあり、すごく悲しかったです。そこで思ったことがあります。なぜ人が嫌がるようなことをしたり、悪口を言ったたりしてしまっているのか、と。

人それぞれ性格はちがいます。性格のいい人もいれば悪い人だっています。人が嫌がるようなことは自分もしないということが大切だと思います。私のクラスはとっても優しい人ばかりです。そんなみんながとてもいいなあと思います。

思っています。私が伝えたことは、どんなことがあっても人が嫌がるようなことは絶対しないということ。一人一人が協力し合い、どんな人とも仲良く関わり合えることが大切だと思います。そして二人で悩まずに、家族でも先生でもいいから相談して、一人一人が優しい心になってほしいです。

新聞を読むと、いろいろな人の意見や考えを知ることができます。国語の力(読解力や表現力)を高めることもできます。毎日、少しずつでも読むことが大切です。

本と遊ぼう。  
本に学ぼう。



本の面白さを知っている人に、  
読書の楽しさを伝える必要はない。

本の面白さを知らない人に、  
読書の楽しさを伝えることは難しい。

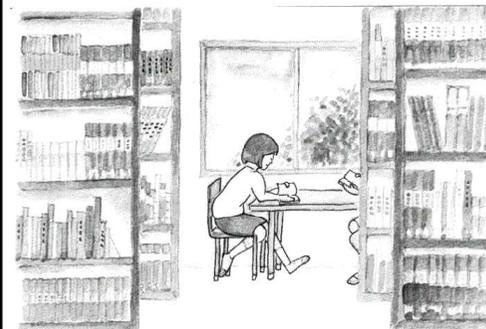
本は最後まで、きちんと読まなくてもいい。  
つまみ食いのような読み方、見方でもいい。  
いろいろな本のいろいろなページをめくってみるだけでいい。

まずは、本と遊ぼう。  
いつか必ず読みたくなる本が現れる。  
学ぶのはそれからでも遅くない。

### 図書室に

行こう。

一生付き合う  
友達と  
出会おう。



「読書の秋」。ゆっくりと本を読もう。  
心を磨こう。夢を広げよう。そして、  
何度でも読みたくなる本と出合おう。

大学生の不読率(1日の読書時間を「0」と答えた学生の割合)が53%との報告がある。読解力の危機も叫ばれている。

女子高校生の1日のスマホ平均使用時間が6.1時間(デジタルアーツ2019)の今、操作操作時間の20分間でも読書にあてたい。

1日20分間読書をすれば、1年365日で121.7時間になる。これは小・中学校の1年間の国語の総授業時数とほぼ同じになるのだ。